

中学技術 高校工業

# 製図

等角図・キャビネット図

第三角法による正投影図



実際の製品では、通常設計者と製作者が異なります。設計者は自分の考えを図面を通して製作者へ伝えます。

そのため、誰が見ても正しく伝わるように図面を描くために決まりなどがあります。日本ではJIS（日本工業規格）という規格に則って図面を描きます。



**①（キャビネット図）**

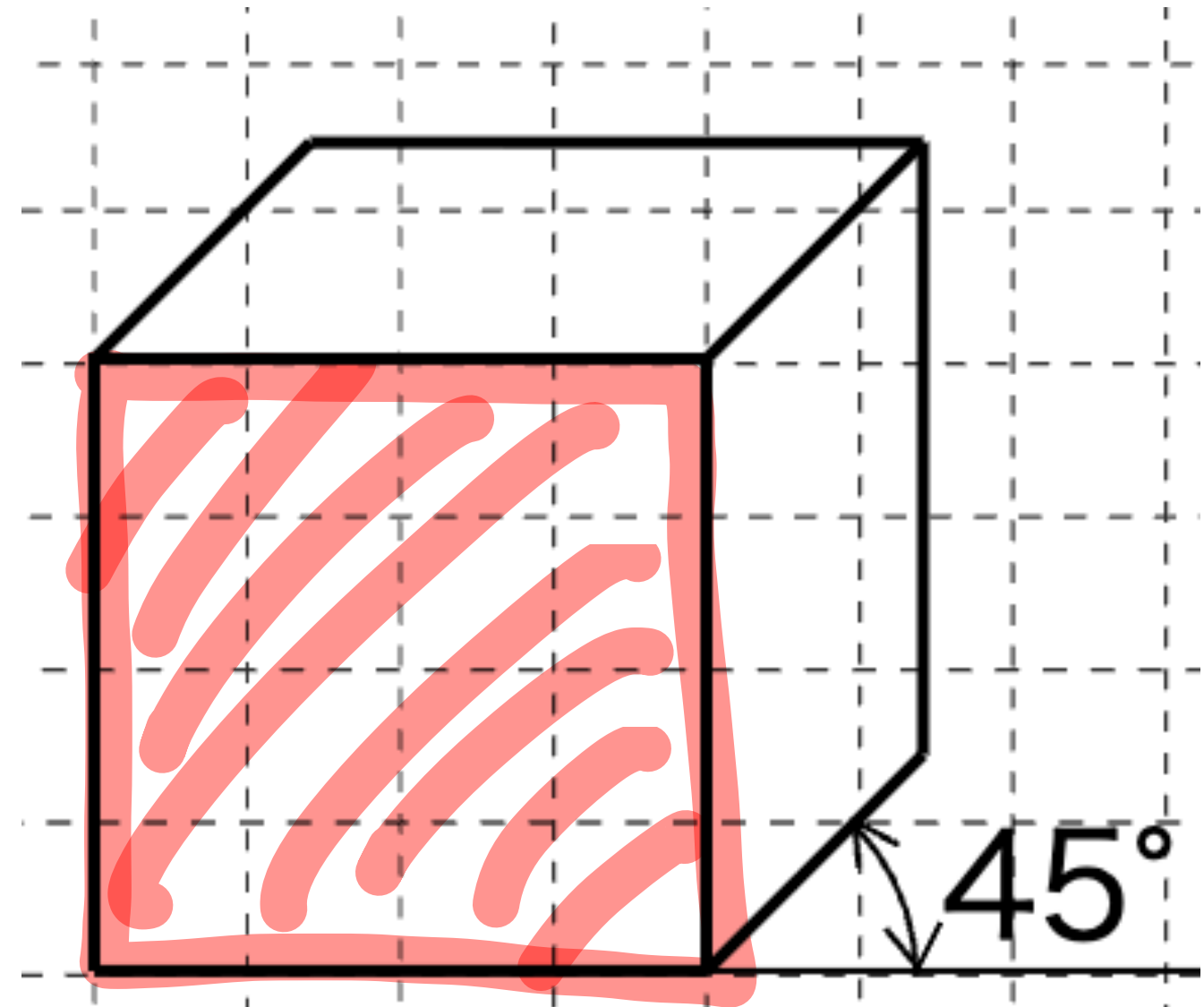
→ 立体の**②（正面）**となる面を  
実物と同じ形に書き、奥行きの辺を

**③（ $45^\circ$ ）**傾けて、実際の長さの

**④（2分の1）**の割合で表す

・ 特徴

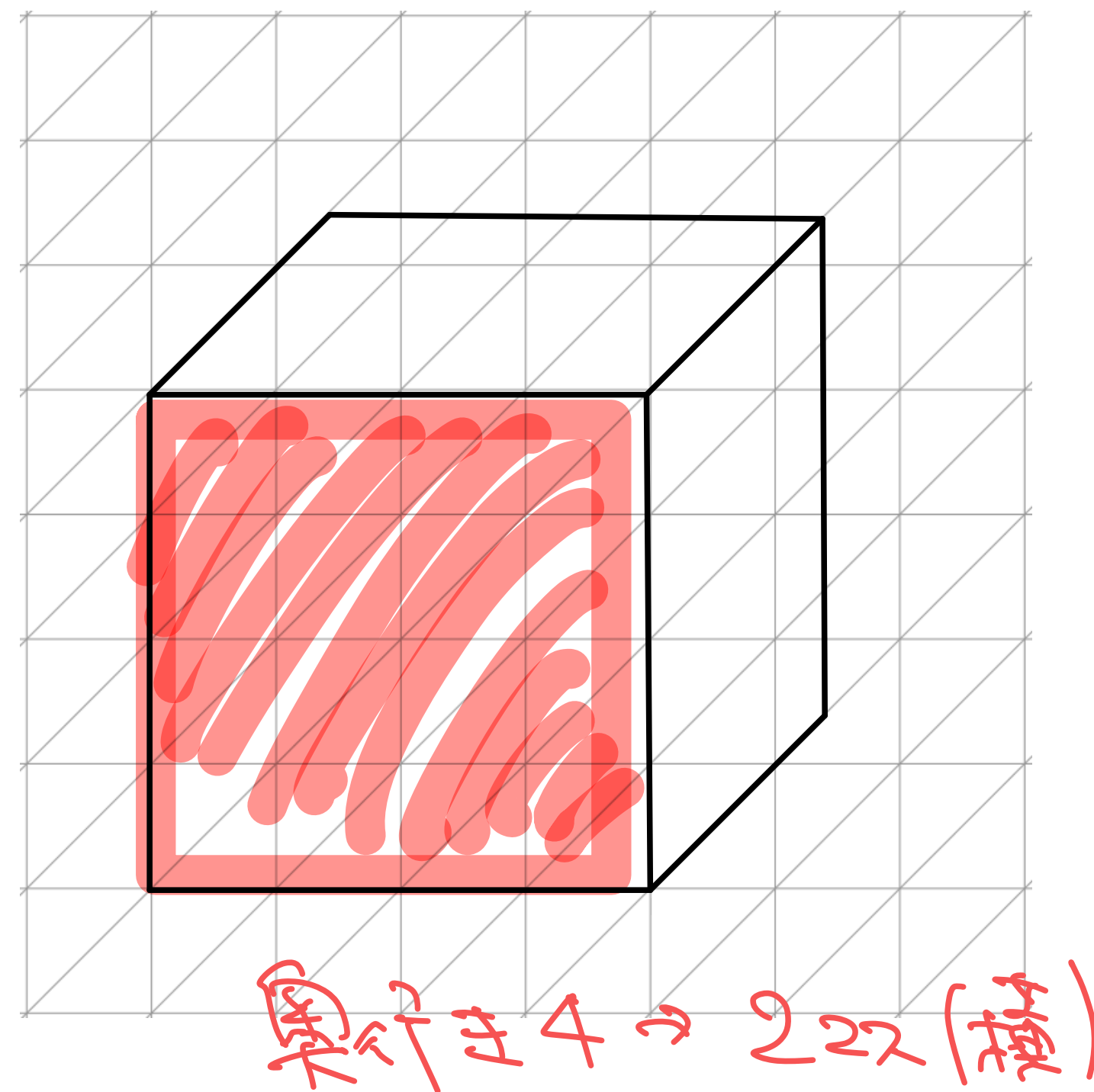
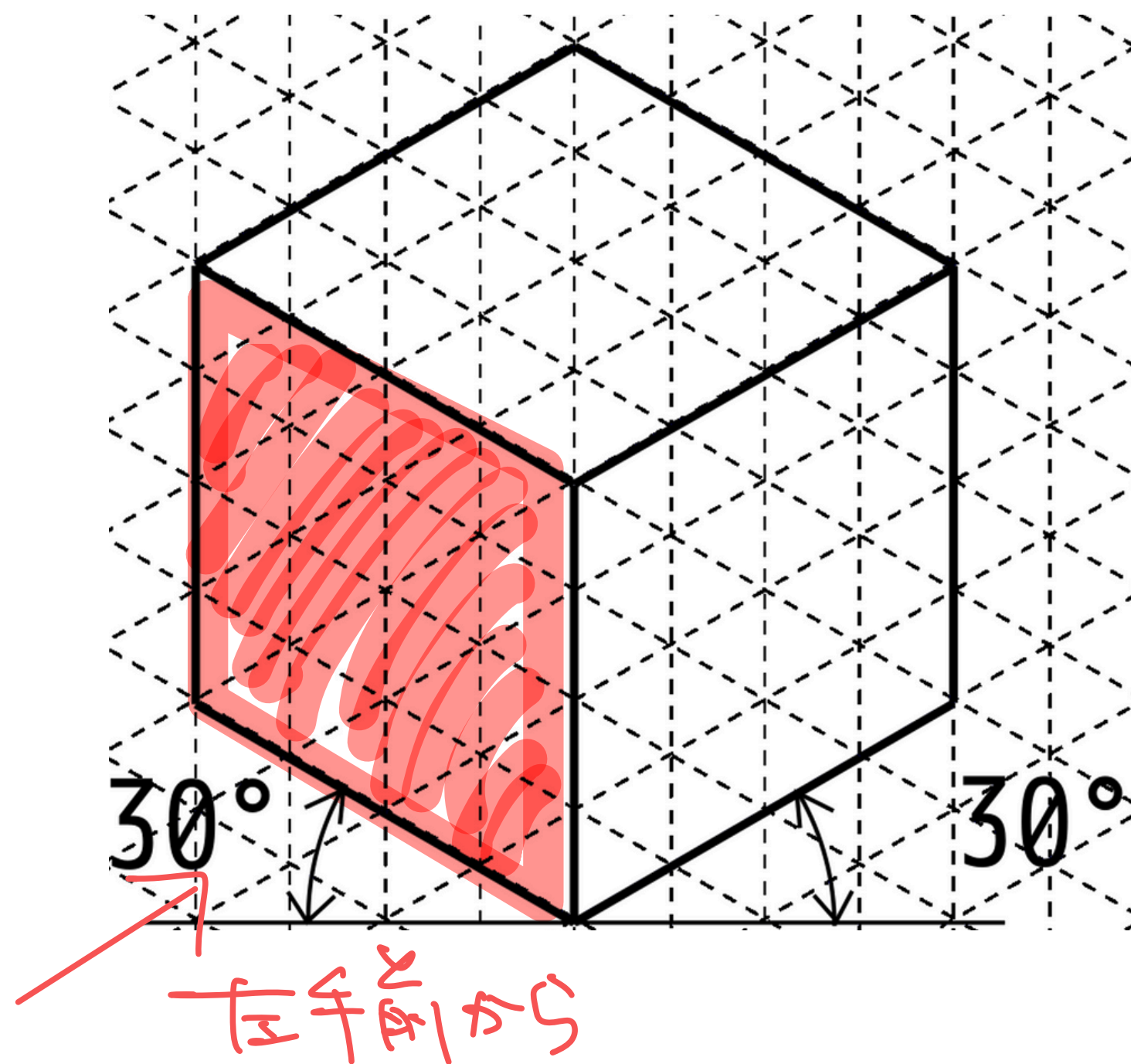
→ 立体の**⑤（正面）**の形を表すの  
に適している。



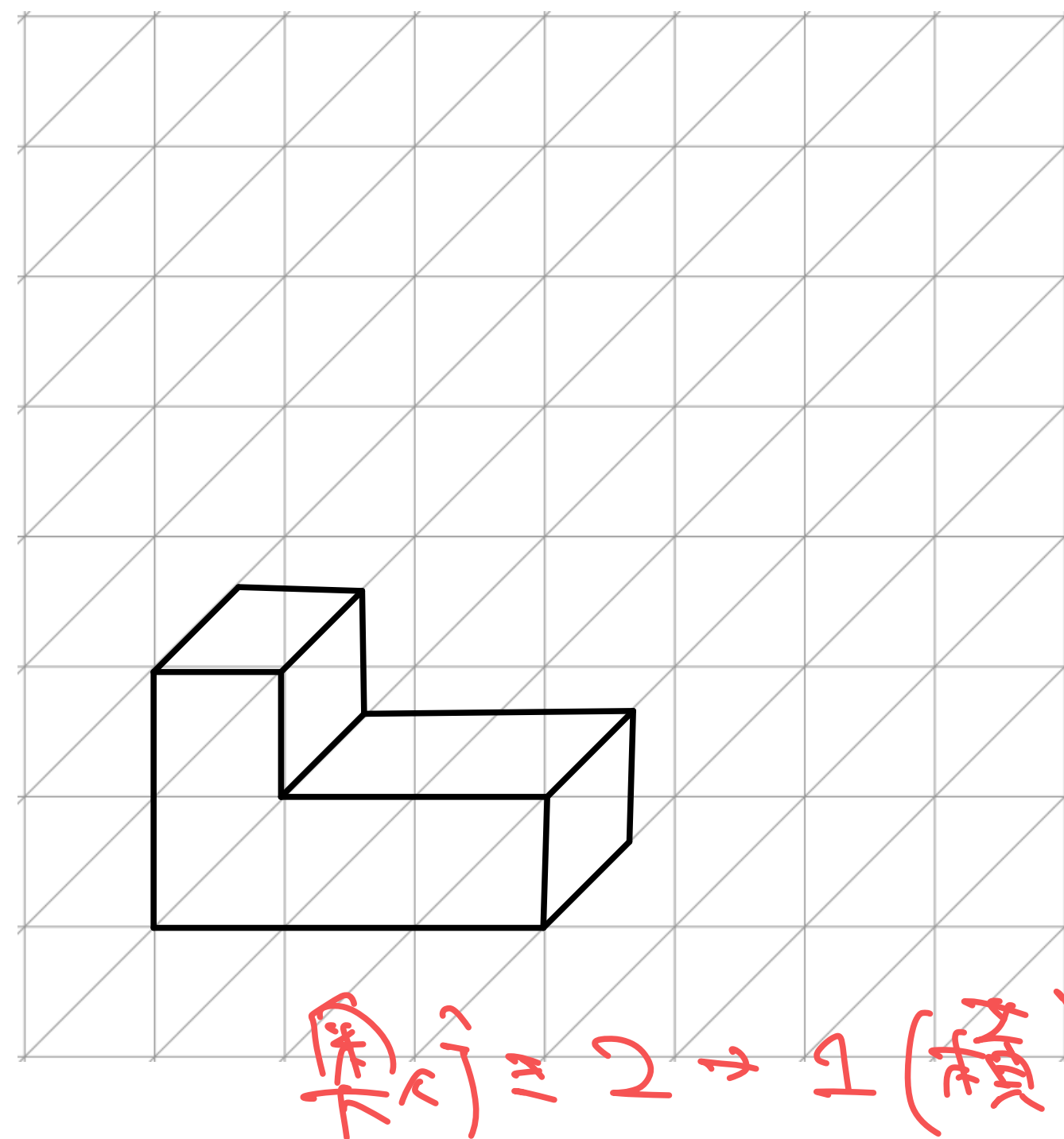
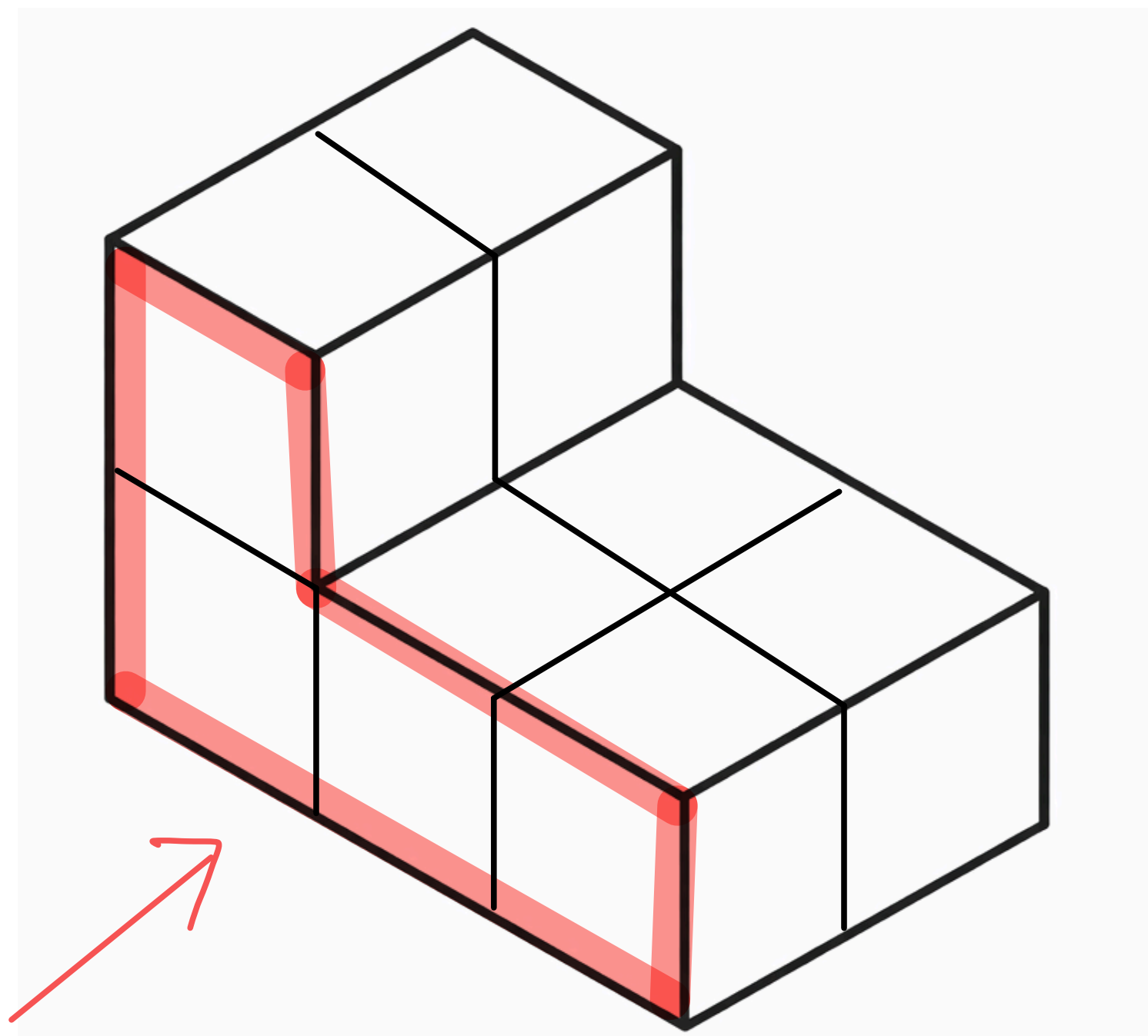
# 02

## キャビネット図

### キャビネット図の描き方



## キャビネット図の描き方



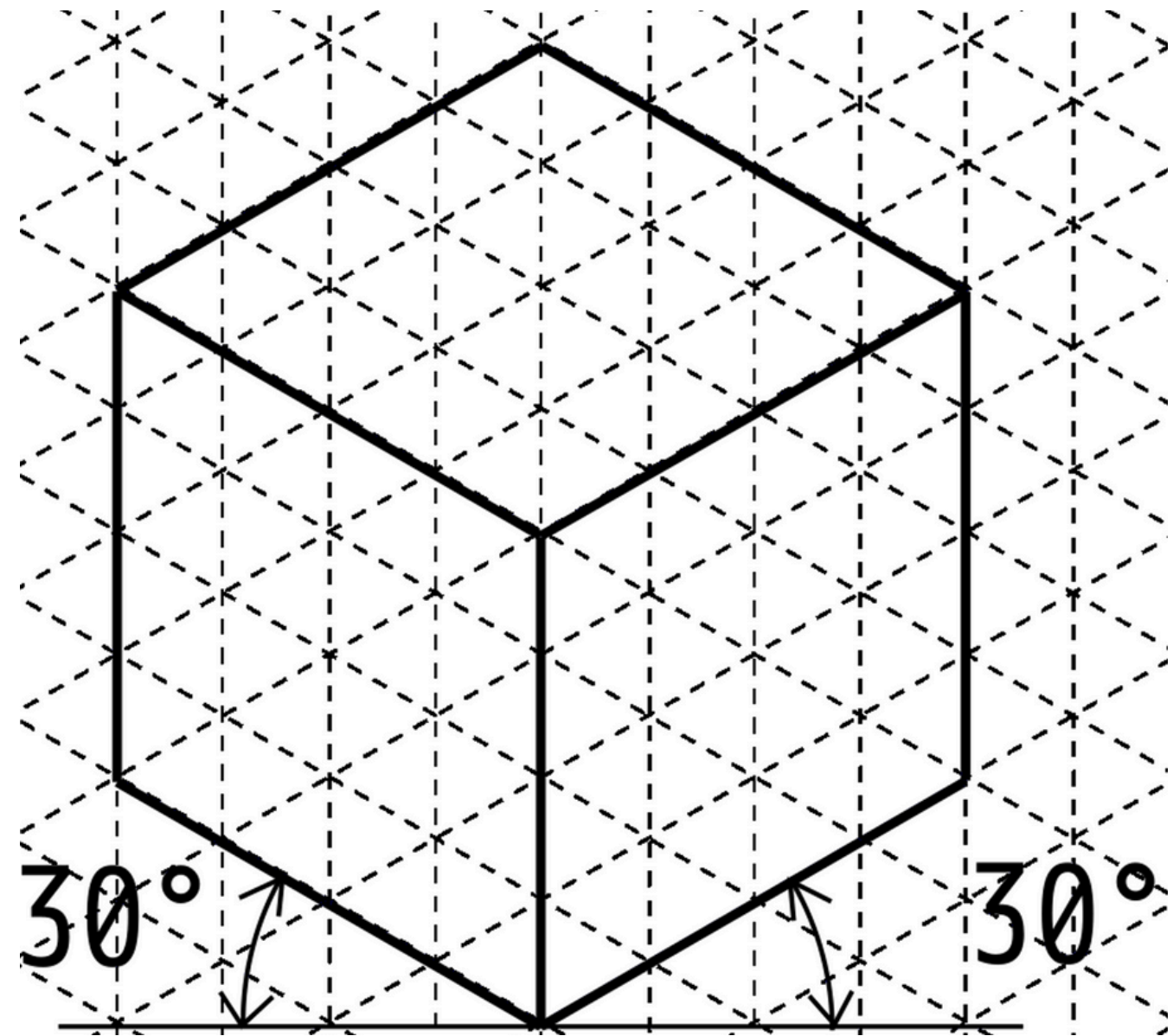


**①（等角図）**

→ 立体の底面の直角に交わる2辺を水平線に対して**②（ $30^\circ$ ）**傾け、立体の縦・横・高さの3辺の比率を**③（等しく）**表す。

**・ 特徴**

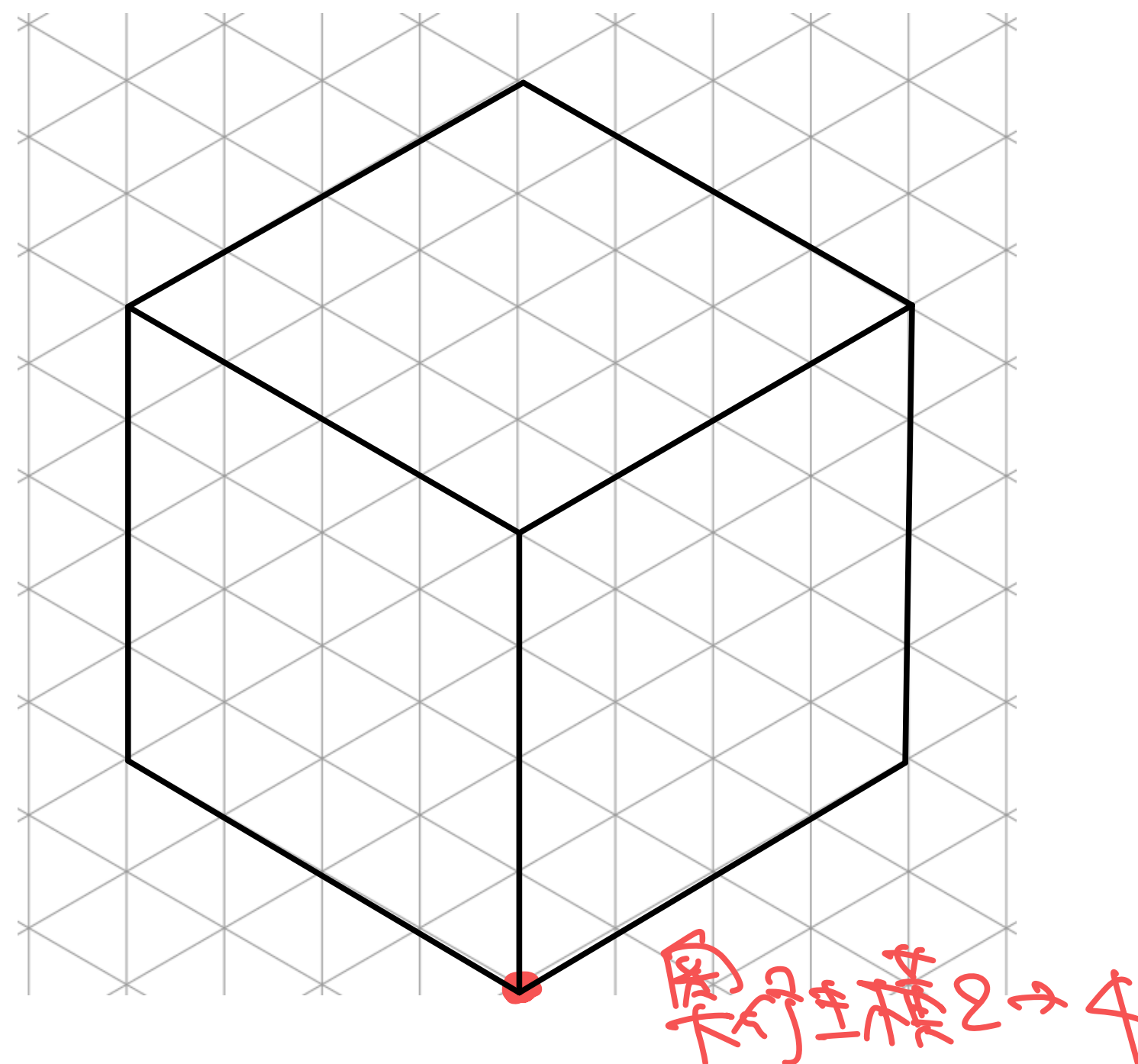
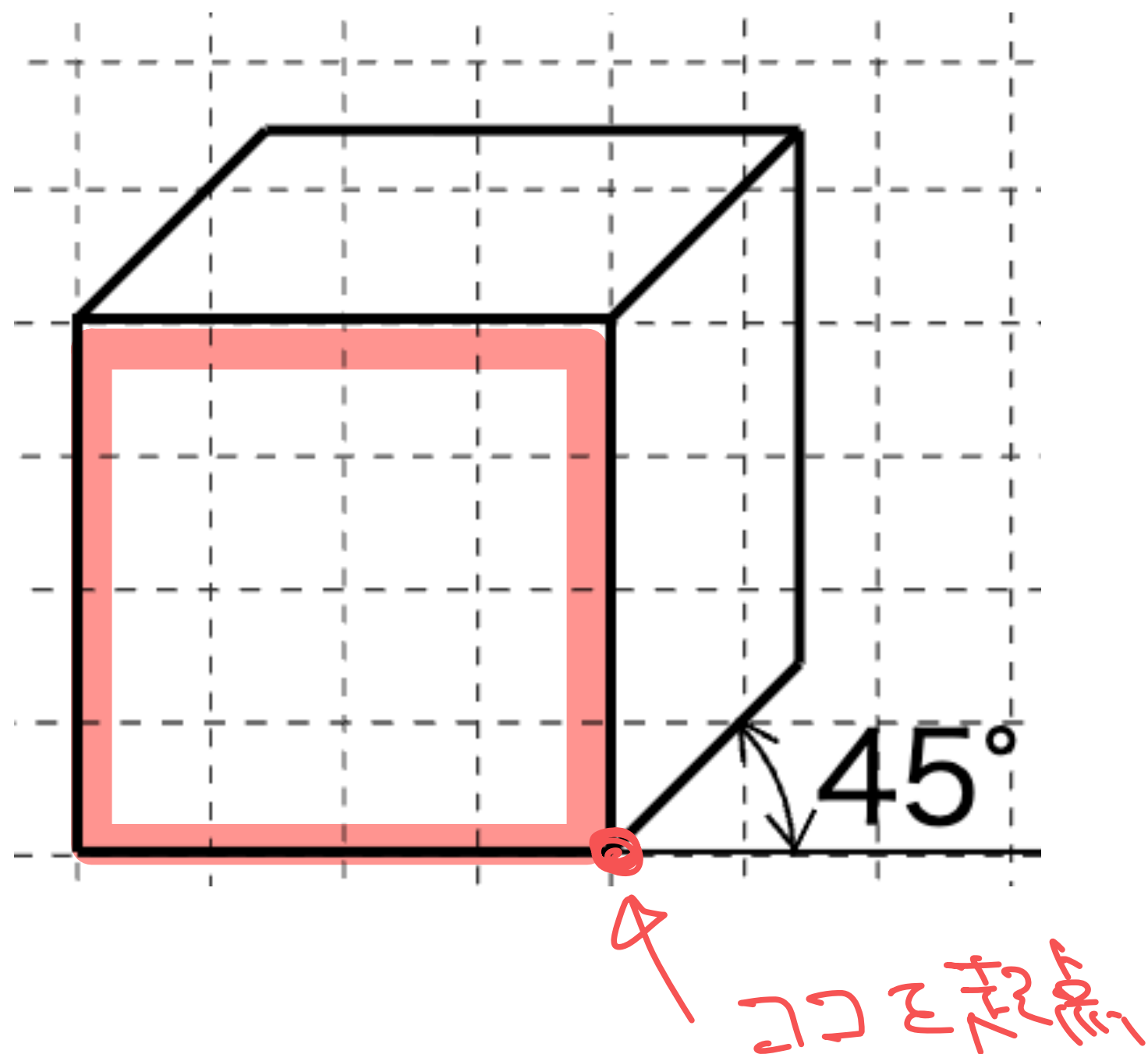
→ 立体の**④（全体）**の形を表すのに適している。



# 03

## 等角図

### 等角図の描き方



# 03

## 等角図

### 等角図の描き方

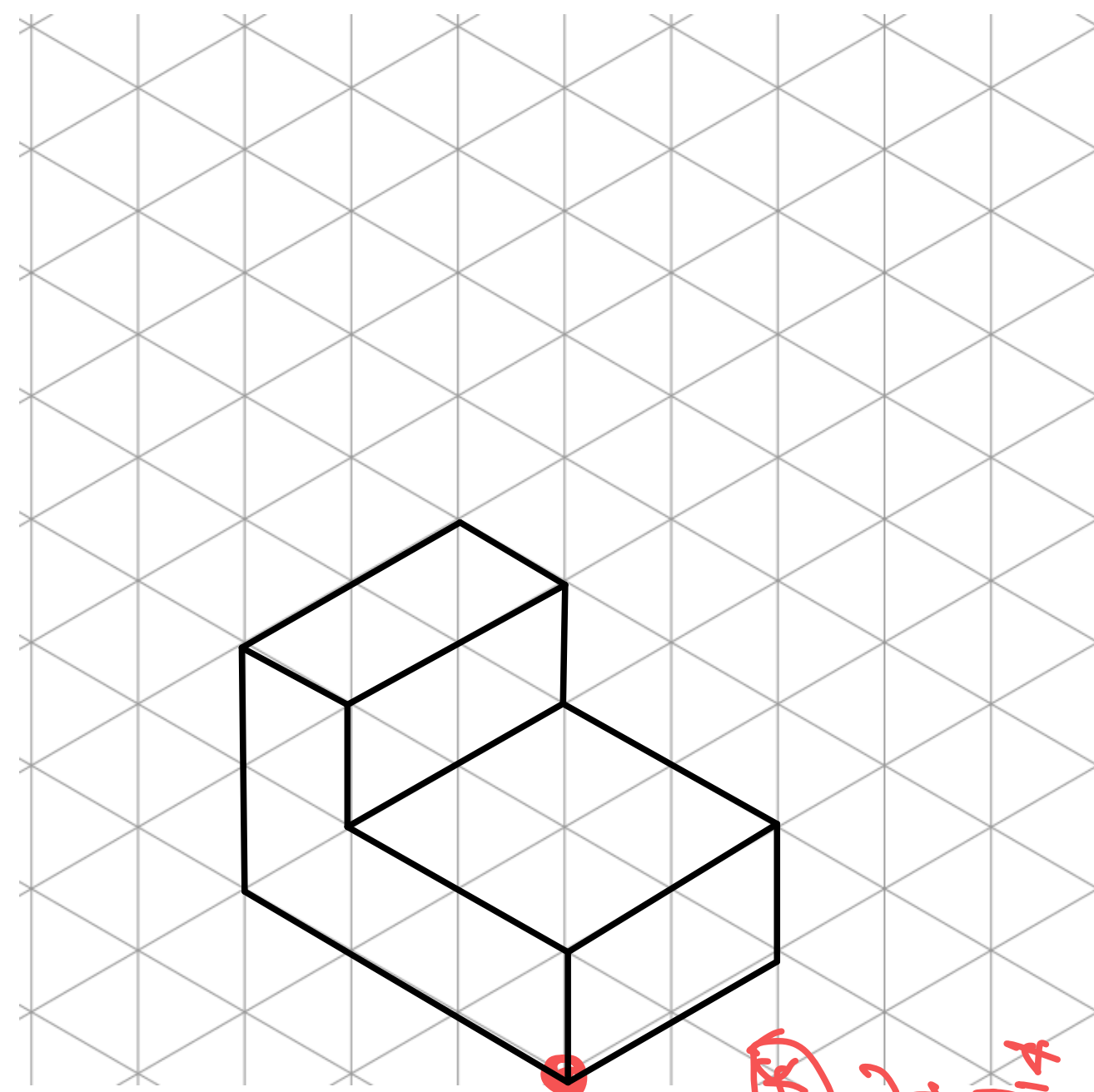
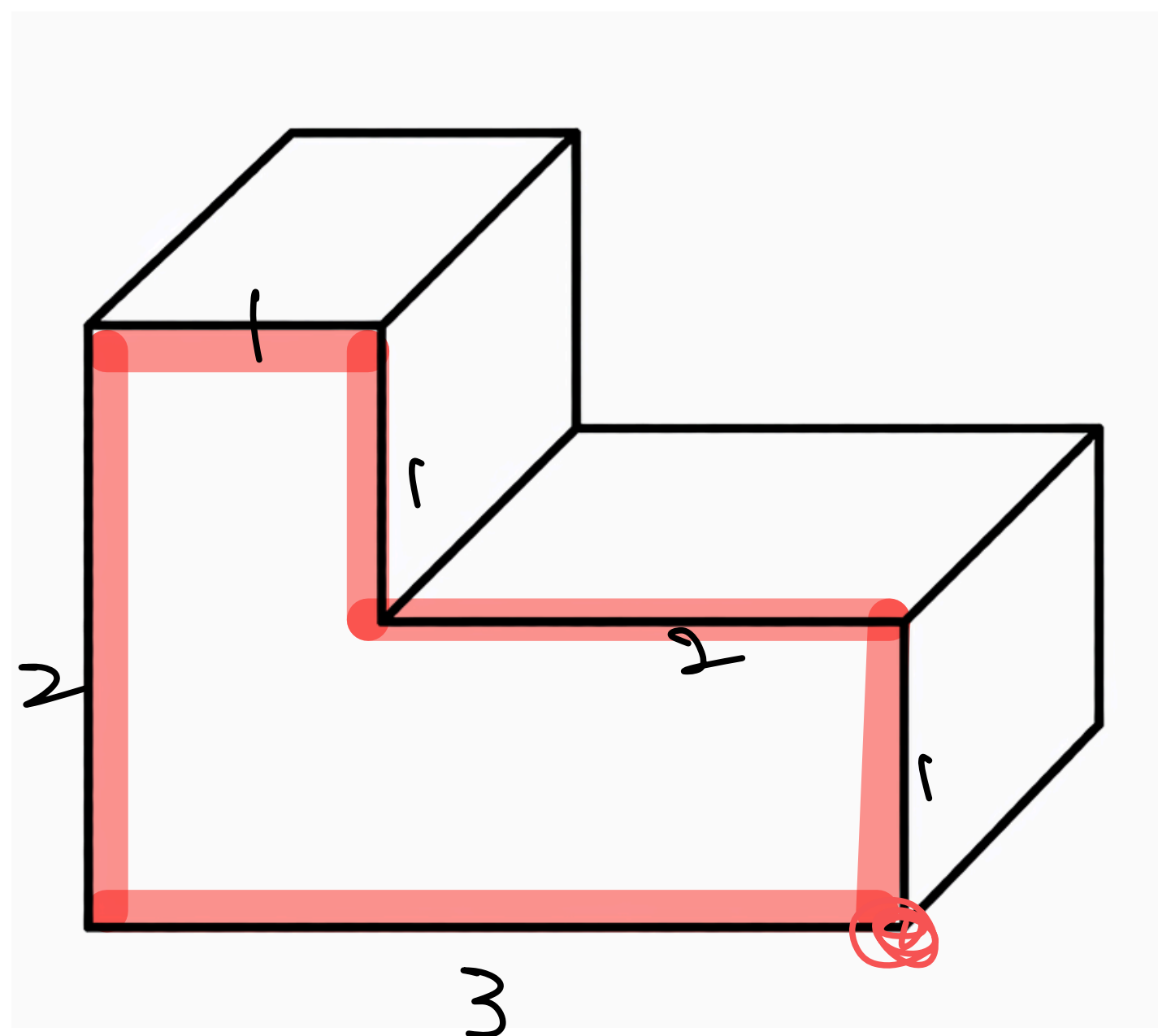


図1は図2

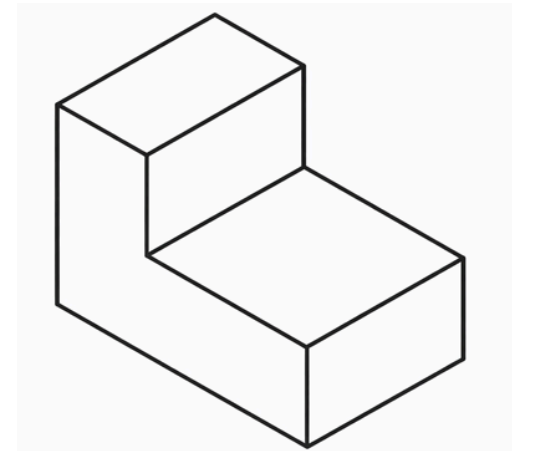
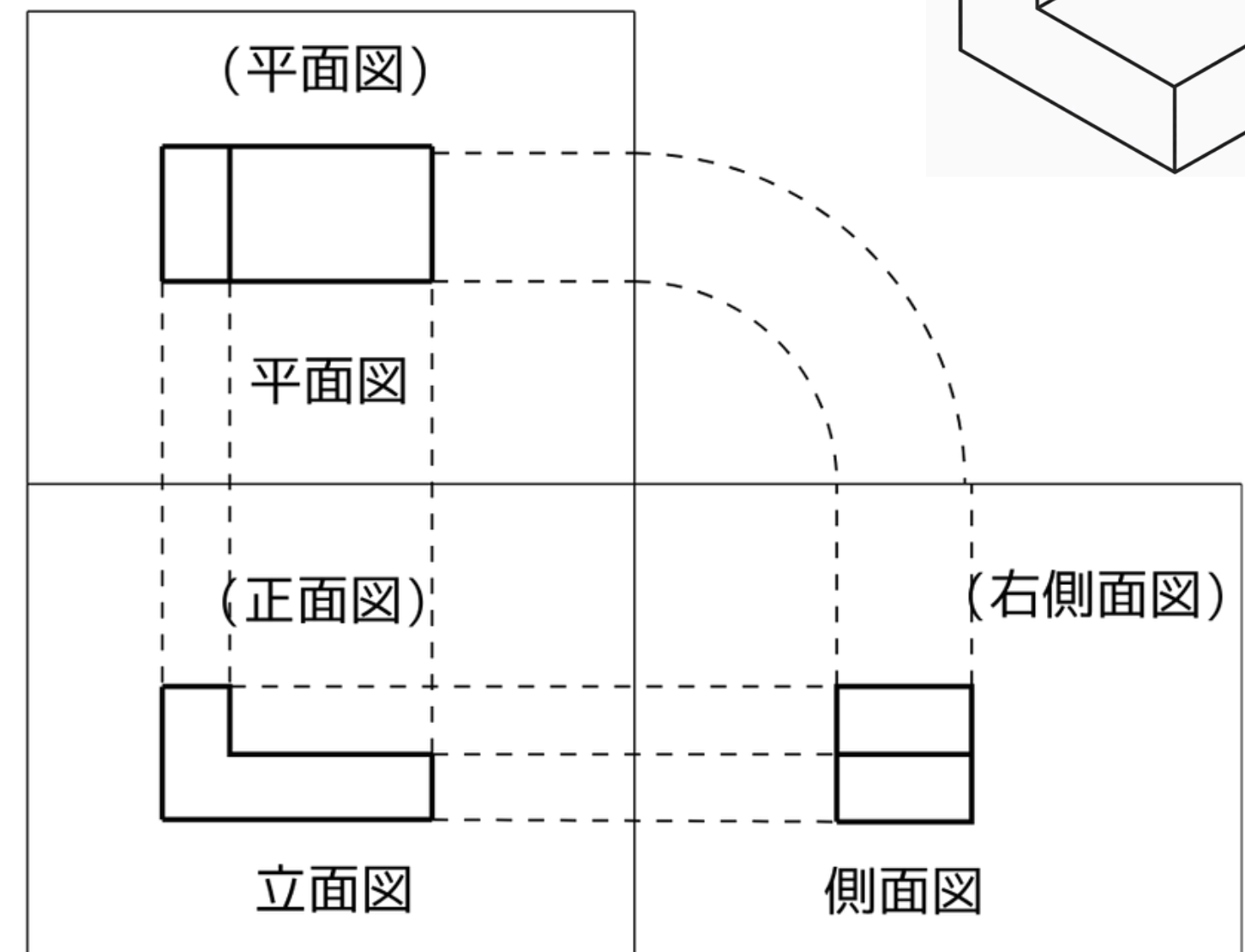


**①（第三角法による正投影図）**

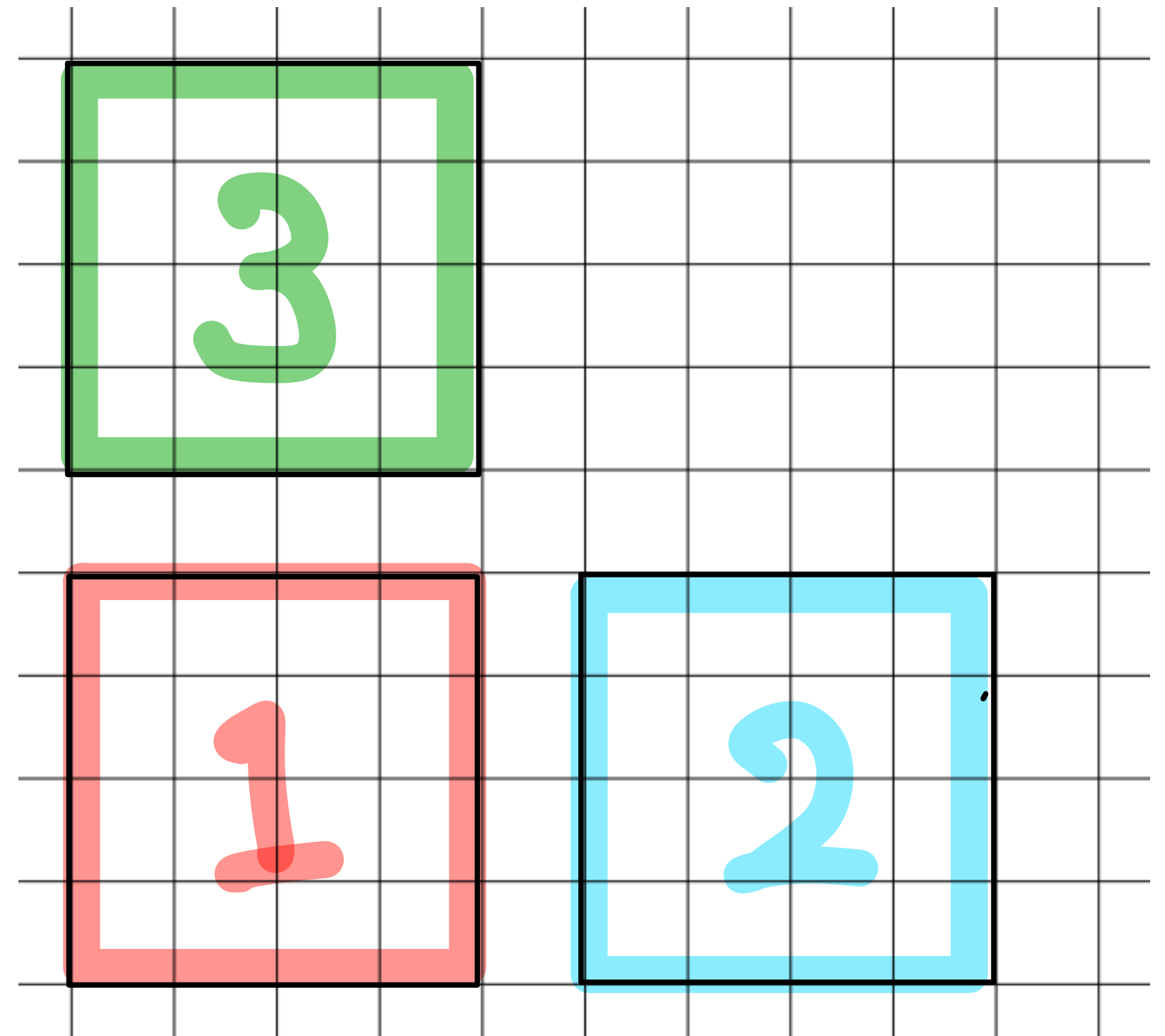
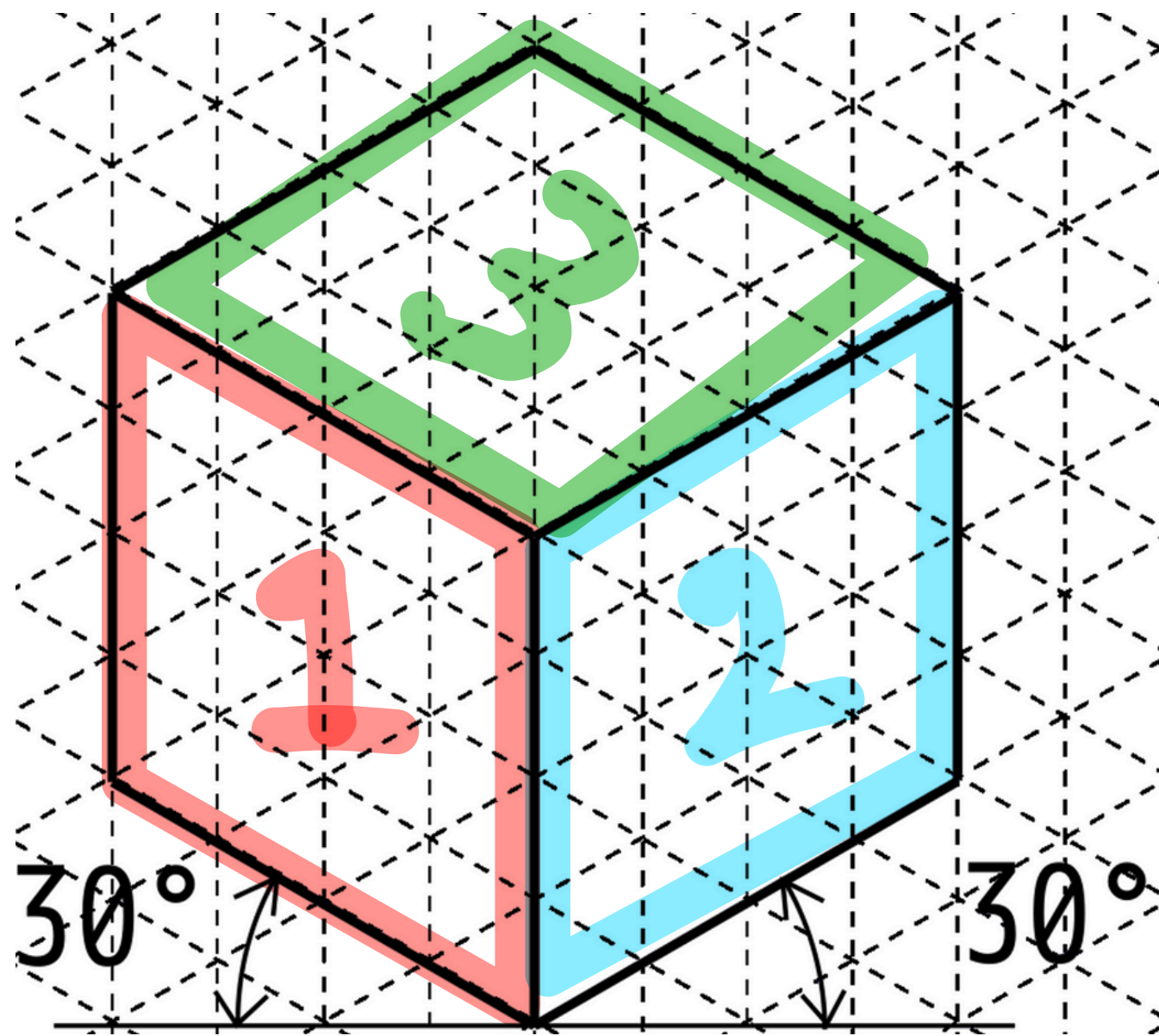
→ 立体の手前に互いに直角に交わる透明な**②（3つ）**の画面を置き、各画面に対して**③（正面）**の方向から見た形そのまま画面に映したと考えて描く図。

**・特徴**

→ 等角図やキャビネット図では、表すことが難しい、部品の正確な**④（形）**や**⑤（接合方法）**なども表現することができる。

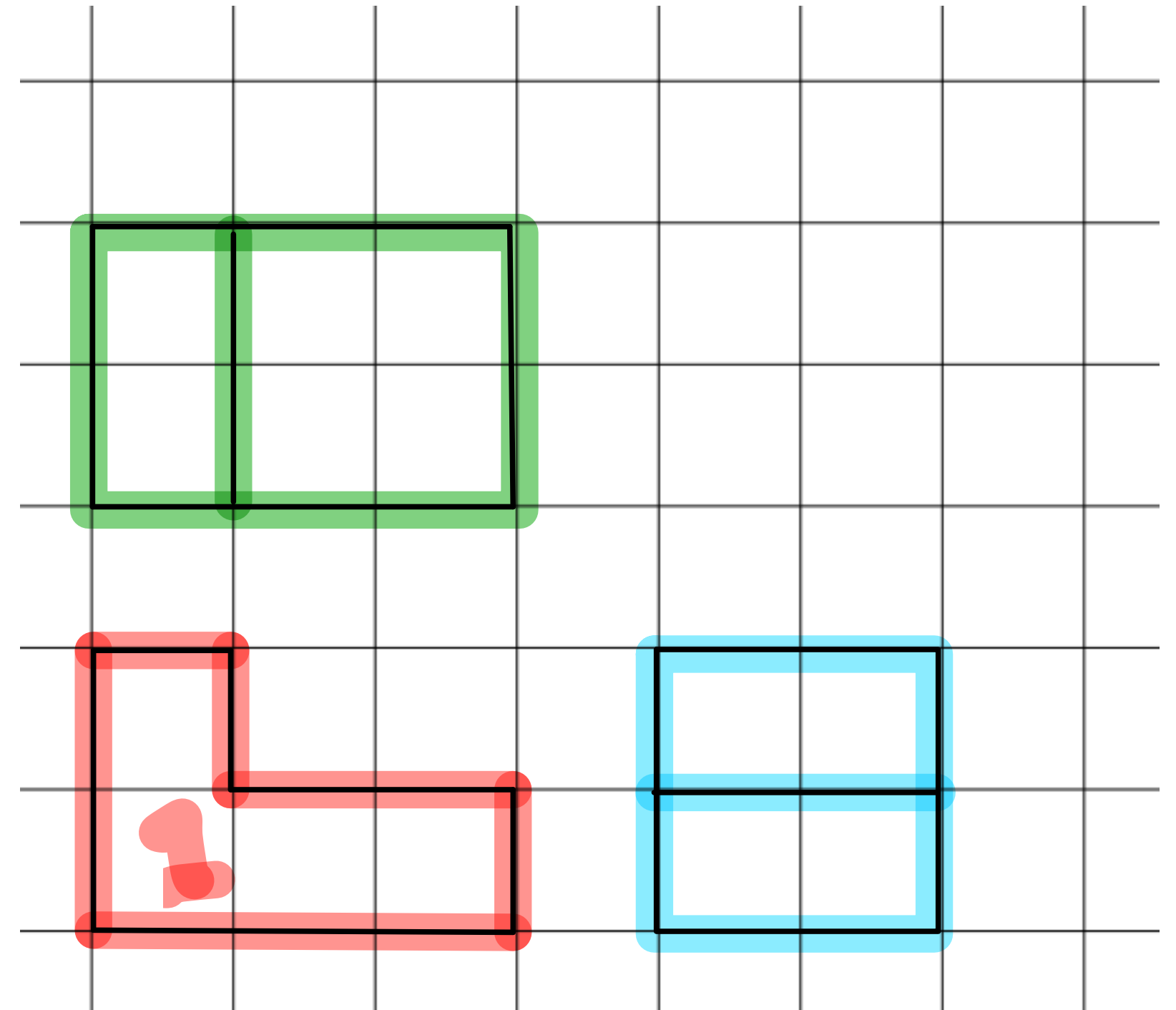
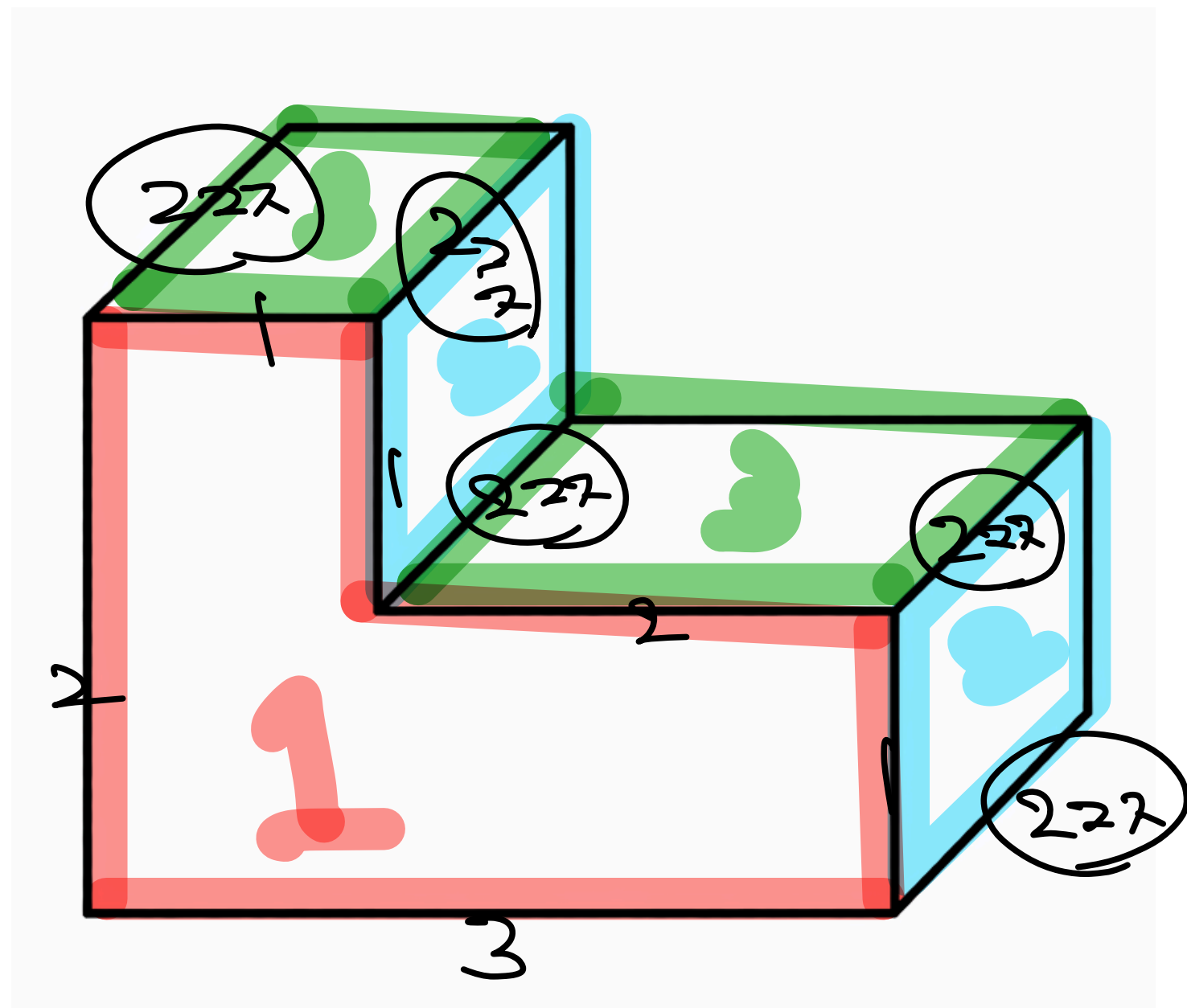


## 第三角法による正投影図の描き方



## 第三角法による正投影図

## 第三角法による正投影図の描き方



君ならできます。  
頑張って！